



没後 40 年 映画監督 五所平之助 *Heinosuke Gosho Retrospective*

2021年10月19日(火)～11月23日(火・祝)

国立映画アーカイブでは、日本映画史に大きな足跡を残した五所平之助の没後 40 年を記念して、10月19日(土)より約 5 週間にわたり大回顧上映を開催いたします。

五所平之助 (1902-1981) は、1925 年に松竹蒲田で監督デビューし、ホームドラマを多作して島津保次郎、牛原虚彦、小津安二郎らとともに“蒲田調”を確立して活躍し、日本初の本格的トーキー作品『マダムと女房』(1931) を成功させました。戦後は東宝で『今ひとたびの』(1947) をヒットさせ、自ら興したスタジオ・エイト・プロによる『煙突の見える場所』(1953) はベルリン国際映画祭でも高く評価され、その後も歌舞伎座プロや松竹などにて女性映画の秀作を作り続けました。日常の細やかな描写を通して感情を掬いあげ、人生の矛盾や葛藤を見つめた抒情性あふれる名作を数多く残しています。さらに普段の情景に潜んでいる極限的なエモーションを捉えることにも挑みました。

本特集では、旧フィルムセンターでの 1974 年の回顧特集の後に収蔵した作品も含め、戦前・戦中期の貴重な現存作品から晩年の意欲作まで、**厳選した監督作 36 本および五所の姿をとらえた 3 本(計 33 プログラム)** を上映します。名匠・五所平之助の軌跡を再評価するこの機会を、多くの映画ファンの皆さんに周知いたしたく、ご協力を賜りますと幸いです。



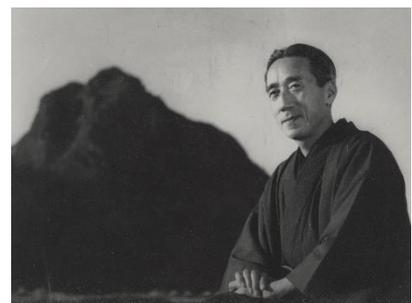
『マダムと女房』



『煙突の見える場所』

五所平之助

1902 年東京生まれ。1923 年に松竹蒲田撮影所に入り島津保次郎に師事(前年に清水宏、同年に小津安二郎も入社)。1925 年『南島の春』で監督デビューし、『村の花嫁』(1928) などで高く評価され、国産初のトーキー劇映画『マダムと女房』(1931) を演出。1941 年に松竹退社後、大映と東宝を経て、1951 年にスタジオ・エイト・プロを興す。1950 年代後半以降は、歌舞伎座プロおよび松竹にて文芸メロドラマなどを手掛けた。1964 年に日本映画監督協会理事長に就任し、1980 年まで務めた。サイレント映画期の 1920 年代から 40 年以上の長いキャリアを通じて監督作品は約 100 本。1981 年 79 歳で死去。



【本特集に関するお問い合わせ】国立映画アーカイブ(上映室:横田・玉田・森宗)

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830

見どころ

貴重な戦前・戦中期作品も含め、戦後や晩年の意欲作まで、33プログラムによる大回顧上映

現存する最古の作品『マダムと女房』(1931)はじめ、遺作『わが街三島 1977年の証言』(1977)や、代表作『煙突の見える場所』(1953)、その他にもソフトや配信では見られない貴重な作品も上映。バラエティ豊かな名匠の作風をご堪能ください。

▶ **戦前の小市民喜劇や下町を舞台にした人情劇**

『マダムと女房』(1931)『朧夜の女』(1936)『花籠の歌』(1937)など、時代風俗を背景に人情を描いた名作

▶ **戦後、様々な人生の機微を綴った抒情的ドラマ**

『わかれ雲』(1951)『煙突の見える場所』(1953)『大阪の宿』(1954)など、人々の悲喜こもごもを綴った代表的作品群



(左から)『朧夜の女』、『花籠の歌』、『わかれ雲』

▶ **複雑な愛憎を掘り下げた見応えある文芸メロドラマ**

井上靖原作による愛の三部作『わが愛』(1960)『白い牙』(1960)『猟銃』(1961)など、円熟期の作品

▶ **情念のダークサイドを描いた異色作**

『愛と死の谷間』(1954)『雲がちぎれる時』(1961)『恐山の女』(1965)など、情念に翻弄される男女を描いた作品



(左から)『愛と死の谷間』、『白い牙』、『雲がちぎれる時』

女性映画の名手として、田中絹代、久我美子、有馬稲子、倍賞千恵子といった女優たちを育て輝かせた

五所平之助監督は女優の演出に長け、**田中絹代**をトーキー時代のスターとしても輝かせた『**マダムと女房**』(1931)や中年期の名篇『**煙突の見える場所**』(1953)、**久我美子**の魅力を引き出した『**挽歌**』(1957)、**有馬稲子**がひたむきな女性像を好演した『**わが愛**』(1960)、**倍賞千恵子**がフレッシュな『**雲がちぎれる時**』(1961)など、多くの女優たちを磨き輝かせました。

時代の最先端をゆき日本映画を牽引しつづけた名匠

日本初の本格的トーキー作品『**マダムと女房**』(1931)はじめ、川端康成の同名小説を初めて映画化した『**戀の花咲く 伊豆の踊子**』(1933)、戦後復興期に本格的メロドラマとして大ヒットした『**今ひとつの**』(1947)、そして、ベルリン映画祭で高く評価されて黒澤明『**羅生門**』(1950) 溝口健二『**雨月物語**』(1953)などと並んで日本映画の国際的評価を高めた『**煙突の見える場所**』(1953)など、日本映画史に重要な功績を残しています。戦後に独立プロ「**スタジオ・エイト・プロ**」を立ち上げ、自由な製作活動に取り組む監督の先駆けの一人となりました。また、助監督であった渋谷実をはじめ多くの後進映画人たちを育てるなど日本映画界に大きな影響を与えています。



(左から)『挽歌』、『わが愛』、『戀の花咲く 伊豆の踊子』

企画概要

没後40年 映画監督 五所平之助

会期：2021年10月19日(火) - 11月23日(火・祝) ※月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU [2階]

定員：後日HPにてお知らせします。(各回入替制・全席指定席)

お問い合わせ：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

HP：<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/gosho202109/>

前売指定席券 (全席指定席)

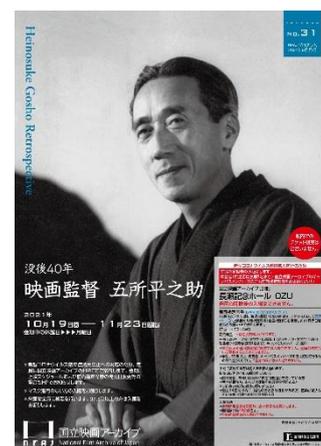
*10月12日(火)以降、毎週火曜日 10:00am より、チケットぴあにて翌週(火～日)の上映回の前売指定席券を販売します。同じ作品でも上映日によって発売日が異なりますのでご注意ください。[Pコード：551-546]

▷一般：520円/高校・大学生・65歳以上：310円/小・中学生：100円

▷障害者(付添者は原則1名)、キャンパスメンバーズ：無料(手数料のみかかります)

※館内でのチケットの販売・発券はありません。

※障害者ならびに国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方も前売指定席券をお求めください。



※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、変更が生じる可能性があります。最新情報は当館HPを随時ご確認ください。※

【本特集に関するお問い合わせ】国立映画アーカイブ(上映室：横田・玉田・森宗)

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830

上映作品リスト 33プログラム（監督作36本）

	作品名	公開年	製作	出演
1	マダムと女房	1931	松竹蒲田	渡辺篤、田中絹代、伊達里子
2	花嫁の寝言	1933	松竹蒲田	小林十九二、田中絹代、斉藤達雄
	花婿の寝言	1935	松竹蒲田	林長二郎、川崎弘子
3	戀の花咲く 伊豆の踊子	1933	松竹蒲田	田中絹代、大日方傳
4	愛撫	1933	松竹蒲田	岡田嘉子、渡辺忠夫
5	人生のお荷物	1935	松竹蒲田	斎藤達雄、吉川満子、葉山正雄
6	朧夜の女	1936	松竹大船	坂本武、徳大寺伸、飯塚敏子
7	新道 前篇/前篇の梗概/後篇	1936	松竹大船	田中絹代、上原謙、佐野周二
8	花籠の歌	1937	松竹大船	田中絹代、佐野周二、徳大寺伸
9	木石	1940	松竹大船	赤木蘭子、夏川大二郎、木暮實千代
10	五重塔	1944	大映	花柳章太郎、森赫子、柳永二郎
11	伊豆の娘たち	1945	松竹大船	河村黎吉、三浦光子、佐分利信
12	今ひとたびの	1947	東宝	高峰三枝子、龍崎一郎
13	面影	1948	東宝	龍崎一郎、菅井一郎、濱田百合子
14	わかれ雲	1951	スタジオ・エイト・プロ = 新東宝	沢村契恵子、沼田曜一、川崎弘子
15	煙突の見える場所	1953	スタジオ・エイト・プロ = 新東宝	田中絹代、上原謙、高峰秀子
16	大阪の宿	1954	新東宝	佐野周二、乙羽信子、水戸光子
17	愛と死の谷間	1954	日活	津島恵子、乙羽信子、芥川比呂志
18	或る夜ふたたび	1956	歌舞伎座	佐野周二、乙羽信子、野添ひとみ
19	黄色いからす	1957	歌舞伎座	淡島千景、伊藤雄之助、設楽幸嗣
20	挽歌	1957	歌舞伎座	久我美子、森雅之、高峰三枝子
21	螢火	1958	歌舞伎座	淡島千景、伴淳三郎、若尾文子
22	欲	1958	松竹京都	伴淳三郎、三國連太郎、森繁久弥
23	蟻の街のマリア	1958	歌舞伎座	千之赫子、南原伸二、佐野周二
24	わが愛	1960	松竹京都	有馬稲子、佐分利信
25	白い牙	1960	松竹京都	牧紀子、佐分利信、南原宏治
26	獵銃	1961	獵銃プロ=松竹大船	山本富士子、岡田茉莉子、佐田啓二、佐分利信
27	雲がちぎれる時	1961	松竹京都	佐田啓二、有馬稲子、倍賞千恵子
28	かあちゃん結婚しろよ	1962	松竹大船	新珠三千代、謝春国、田村高広、伴淳三郎
29	100万人の娘たち	1963	松竹大船	岩下志麻、小畑絹子、吉田輝雄、津川雅彦
30	恐山の女	1965	フレンド・プロ	吉村実子、寺田農、殿山泰司
31	かあちゃんと11人の子ども	1966	松竹	左幸子、渥美清、倍賞千恵子、田村正和
32	女と味噌汁	1968	東京映画	池内淳子、田中邦衛、川崎敬三、田村正和
33	糸あやつり 人形劇映画 明治はるあき	1968	博物館明治村	竹田扇之助、竹田喜之助
	わが街三島 1977年の証言	1977	三島市民サロン=笈の会	窪田精四郎、小出正吾、大岡信

五所の姿を映した貴重な作品も上映！

- ・「十九の春」撮影風景（1933年）…『愛撫』と併映
- ・あこがれ [スタジオF版]（1935年、監：川喜田壮太郎）…『人生のお荷物』と併映
- ・花よりだんご スタジオFのお花見（1935年頃）…『花籠の歌』と併映

【本特集に関するお問い合わせ】国立映画アーカイブ（上映室：横田・玉田・森宗）

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830